

明石市保健福祉施設協会主催

第7回 介護の日 記念式典



&

優良介護職員表彰



施設サービス課 佐藤 孝宏

11月11日といえば「ポッキーの日」「チーズの日」「チンアナゴの日」etc. の記念日の他、平成20年に厚労省が制定した「**介護の日**」があります。“介護について理解と知識を深め、介護従事者・介護サービス利用者及び介護家族を支援すると共に、利用者・家族・介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者に対する介護に関し、国民の啓発を重点的に実施するための日”として、「**いい日、いい日、毎日、あったか介護をありがとう**」を念頭に、覚えやすく親しみやすい語呂合わせから決まりました。

11月10日 明石医師会館で **第7回『介護の日』記念式典を開催**。加盟施設（令和元年7月現在 市内14法人23施設数）の優良介護職員（19名）表彰と記念講演会があり参加。なごみ会から岡本 達二 CW が受賞。その後、**兵庫県立大学看護学部 老人看護学の高見 美保教授の「超高齢社会における認知症ケア」の演題**の講演があり、その中で印象に残ったことを報告します。



1. 「**3秒に1人、世界の誰かが認知症になっている**」と言われ、日本だけに限らず全世界で高齢化が進んでいる。**認知症は発生率が高い疾患で、各国がしっかりと対策をとることで認知症者割合数の増加を緩やかにすることが可能**。現在、日本はアジア太平洋地域やヨーロッパと同じように急激な増加は見られない。
2. 「認知症ケア」と「高齢者ケア」の基本的なケアは重なり合う部分が大きく、**高齢者ケアの基本の中に認知症ケアの基本が含まれている**。**認知症患者に対する個別ケアは重要であるが、70歳代になると、認知症患者との生活能力の差は小さくなるが、80歳以上の高齢者ケアと認知症患者のケアは同義となる**。

認知症ケアの考え方

- ① **ユマニチュード** 「人間らしさを取り戻す」というフランス語の造語で、「人間らしさと優しさに基づいた認知症ケア」を表現する言葉である。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの技術から認知症者本位のケアを提供し、機能回復や残存機能の活用を目指すものである。
- ② **パーソン・センタード・ケア** 認知症者を一律に捉えるのではなく、**一人の“人”と**